分担金・拠出金の名称	北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）信託基金拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名	国際連合環境計画（UNEP）		
国際機関の概要	北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）は，UNEPが1974年に提唱した地域海計画の1つであり，日本海及び黄海の海洋環境保全等への協力のために，1994年，日本，韓国，中国及びロシアが参加して発足。		

拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	達成状況
1.（1） 成果目標：NOWPAP信託基金への拠出を通じて，我が国の重要地球規模課題の遂行を促進し，我が国実施事業との相互補完性を高める 活動指標：NOWPAPによる活動の我が国重点課題への貢献，NOWPAPの活動実績	我が国の一部地域においては，中国や韓国から流出した海ごみの漂着が問題化しており，関係国と連携し対策を講じることが喫緊の課題となっている。 このような状況下で，我が国が参加する唯一の地域海計画として重要な役割を担うNOWPAPは，海ごみの実態を調査するためのモニタリング，陸由来のごみの流出削減のための優良事例の共有，国際的な沿岸クリーンアップ等を通し，本課題への対策に貢献している。
（2） 成果目標：NOWPAPにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標：政府間会合における決定事項への我が国の意向の反映	我が国は，毎年開催される政府間会合の議長国を定期的に務め，議長国期間には必要に応じて特別政府間会合を開催することで，我が国の問題意識をNOWPAPの活動方針に反映させてきた。 また，主要拠出国として，UNEP事務局長及び担当局長と定期的に協議を行うことによっても，我が国の影響力を確保している。
（3） 成果目標：NOWPAP事務局が適切な組織・財政マネジメントを行う 活動指標：NOWPAPの組織・財政マネジメント向上努力	我が国が富山に招致したNOWPAP事務局は，財政状況が悪化した際，我が国を始めとする参加国の要望を受けて，2014年，国連内部監査部によるによる監査を実施する等の対応策を講じた。 その後，監査報告書の提言も踏まえ，我が国が開催した政府間特別会合開催等において解決に向けた議論に参画し，人件費の適切な削減を主眼とする新体制確立に合意した。
（4） 成果目標：NOWPAPにおける邦人職員数の増強を図る 活動指標：NOWPAPにおける日本人職員数の増加	現在，活動拠点には所長を含む4人の専門職以上の邦人が勤務しており，関係省庁及び我が国関連研究機関と連携しつつ活動を実施している。 また，上位機関であるUNEPに関しては，現在17人（専門職以上）が，我が国が重視する分野のポストに就き，我が国による任意拠出の効果的活用のモニタリング等を行っている。
2. PDCAサイクルの確保	①計画段階（Plan）：我が国の関連政策（「経済財政運営と改革の基本方針2014について」等に照らしつつ，予算要求。②実施段階(Do)：予算拠出。NOWPAP政府間会合において活動をモニタリング。③評価段階(Check)：NOWPAP作成年次活動・財政報告書及び国連内部監査部作成報告書により活動を評価。④フォローアップ(Act)：NOWPAP政府間会合やフォーカルポイント会合を始めとする機会を通じ，必要に応じて改善を提言。

担当課・室名	国際協力局　地球環境課